



豊かな海と山のめぐみを次世代につなぐまち ～資源循環都市 Re:KOBÉ～



望ましい環境像を定めます。
未来に向けて本計画を積極的に推進していくための共通認識として、
望ましい環境像を定めます。

望ましい環境像

神戸市は、瀬戸内海や河川などの水資源、六甲山系や帝釈・丹生山系の山々、それらが育む生物多様性など、暮らしの中で様々なめぐみを楽しんでいます。

安全・安心で快適な生活環境の維持を土台としながら、市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化の防止、ごみの減量・資源の循環、自然との共生の推進によって、将来にわたって豊かな海と山のめぐみを楽しむことで、Well-being(市民一人ひとりの質の高い生活)につながります。

資源循環都市とは、あらゆる資源を効率的・循環的に活用し、環境と経済の好循環が構築された都市を指します。

Re:KOBÉの「Re」には、

- Resource** — 人や自然(豊かな海と山)などの神戸の資源
- Reduce, Reuse, Recycle** — ごみ削減の2R+リサイクル
- Renewable** — 再生可能
- Regeneration, Restoration** — 自然の再生・回復
- Resilience** — 災害に対するレジリエンス
- Responsibility** — 未来への責任

など、持続可能な社会に向けた理念が込められています。